

街路事業

おやまとちぎ

小山栃木都市計画道路 3・3・3号

おやまとちぎ つが

小山栃木都賀線

(主要地方道 宇都宮亀和田栃木線) 平柳町工区

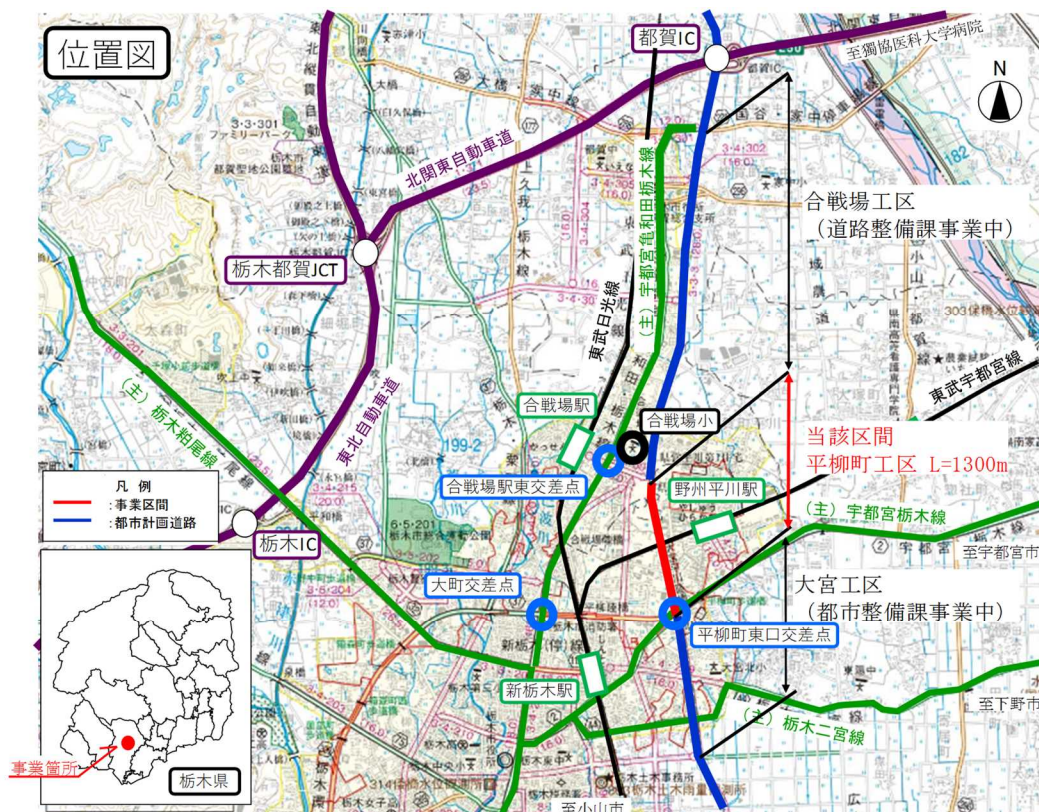
(平成28(2016)12月 供用)

1. 事業概要

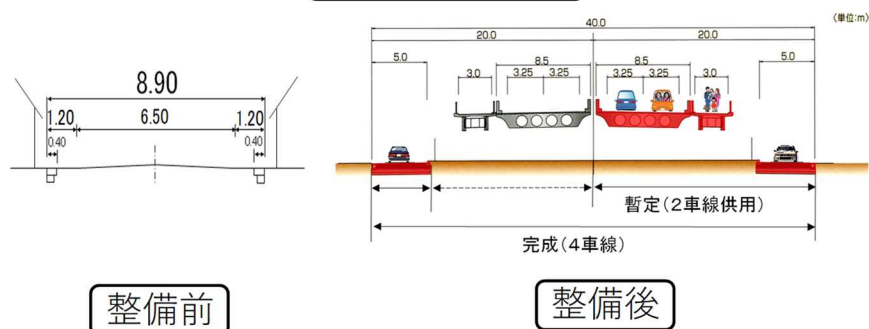
小山栃木都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線は、小山市から栃木市東部を經由し、北関東自動車道都賀ICに直結する主要幹線道路である。また、防災拠点となる3次医療機関「獨協医科大学病院」等へのアクセス道路となる第2次緊急輸送道路に指定されているなど、防災上重要な路線である。

しかしながら、本路線の現道は交通量が多く、栃木市街地の大町交差点付近～合戦場駅東交差点付近においては、朝夕を中心に交通渋滞が発生していた。また、合戦場小学校の通学路として利用されているにも関わらず、歩道の未整備区間あることから、自転車・歩行者の安全の確保が望まれていた。

このため、栃木県では、渋滞緩和による交通の円滑化、自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保、緊急輸送道路の機能強化を目的として、平成13年度から東武宇都宮線の立体交差化を含むバイパス整備事業に着手し、平成28年12月に供用を開始した。



—標準横断面図—



- ◆ 事業名 : 街路づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 小山栃木都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線
(主要地方道宇都宮亀和田栃木線)
栃木市平柳町^{ひらやなぎまち} ~ 栃木市都賀町平川^{つがまちひらかわ}
- ◆ 全体延長 : L=1,300m
- ◆ 幅員 : W=25.0m (車道6.5m、歩道3.0m片側、副道5.0m両側)
- ◆ 主要構造物 : 大宮平川陸橋^{おおみやひらかわりのきょう} L=432.8m
- ◆ 総事業費 : 約79億円 (暫定2車線)
- ◆ 事業期間 : 平成13年度~平成28年度 (供用開始:平成28年12月)

2. 事業の目的・必要性

- ① 渋滞緩和による交通の円滑化
- ② 自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保
- ③ 緊急輸送道路の機能強化

3. 事業の整備効果等

① 渋滞緩和による交通の円滑化

旧道からバイパスへ交通が転換したことで、市街地内を通る旧道の慢性的な交通渋滞が緩和した。

<旧道の交通状況>

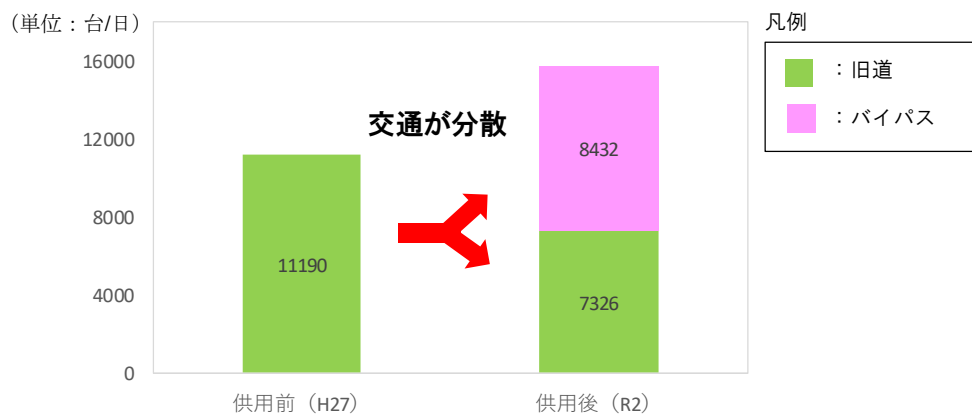
(旧道) バイパス供用前



(旧道) バイパス供用後



<交通量の推移>



② 自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保

歩道の整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保された。

<自転車・歩行者の通行空間>

(旧道)



(バイパス)



○利用者アンケート結果より

- ・安全性について：安全に通行できると感じている人の割合：81%

③ 緊急輸送道路の機能強化

各主要交差点から都賀 IC までの移動時間が短縮され、3 次医療機関「獨協医科大学病院」等へのアクセス強化など、緊急輸送道路としての機能が強化された。

<交通量ピーク時（17時台）の交通状況>

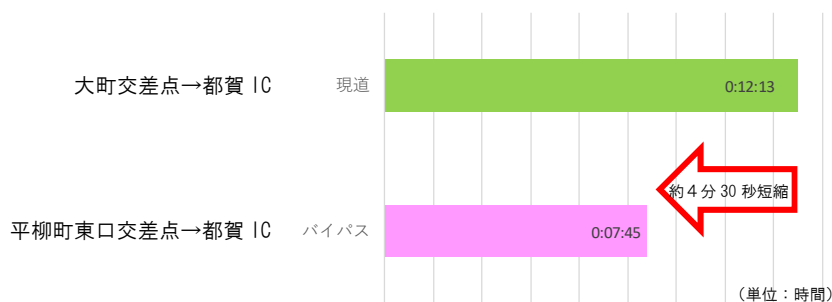
(旧道)



(バイパス)



<交通量ピーク時（17時台）の移動時間>

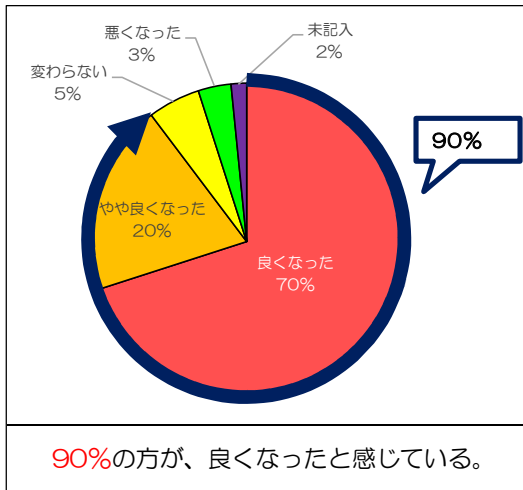


4. 地元の声（アンケート結果）

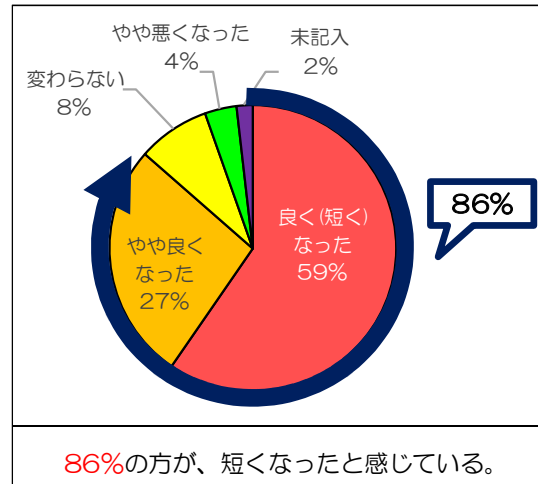
小山栃木都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線（平柳工区）の整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、沿道店舗への来訪客にアンケート調査を実施した。

（回答数／配布数：428／840件 回答率 51.0% ※有効回答数は設問により異なる。）

（1）走行性の変化

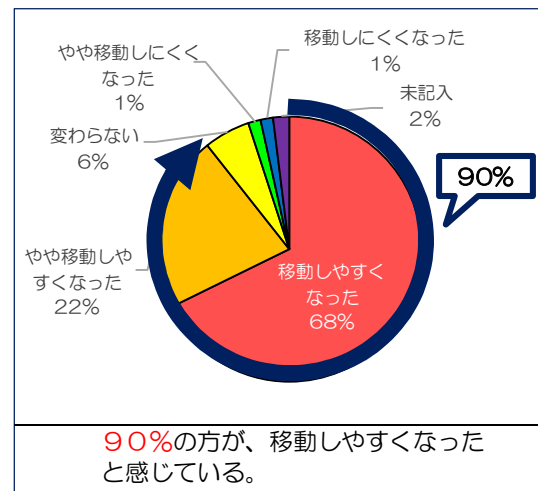
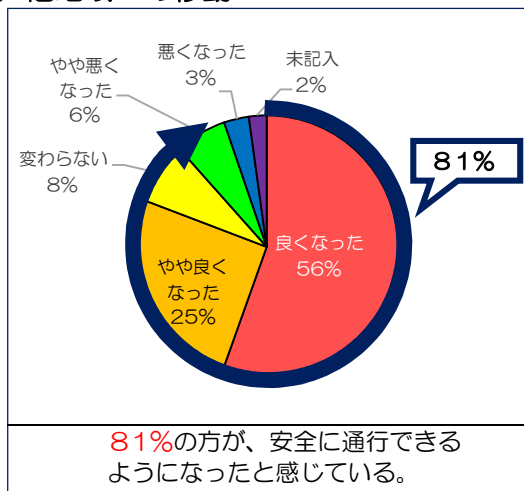


（2）移動時間の推移



（3）安全性への変化

（4）他地域への移動



自由意見（意見の多かった内容等）

- ◇ 都賀ICには、とても行きやすくなりました。
- ◇ 施設や公共施設へのアクセスの良さが相俟って評価できるものと考えます。
- ◇ 生活における移動時間の短縮は心にゆとりを持って自動車の運転ができるため交通安全上有意義であり、他の県道、市道等の整備促進を期待しております。
- ◆ 平柳町東口交差点の信号待ち時間を短くして欲しい。
- ◆ 平柳町から南側の整備を早急に進めて欲しい。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業は、①渋滞緩和による交通の円滑化、②自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保、③緊急輸送道路の機能強化等、様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査結果からも、概ね事業の目的を達成する効果が確認できた。

一方、アンケート調査の自由意見「平柳町東口交差点の信号待ち時間を短くして欲しい」については、道路利用状況により、さらなる改善の必要性が生じた場合には、地元住民や交通管理者と協議し対応していく。また、平柳町から南側の整備については、平成26年から大宮工区として事業実施中である。

6. 同種事業への反映

市街地を迂回し、東武宇都宮線の立体交差化を含むバイパスを整備することで、目的の達成を図ることができた。

今後も同種事業を実施する際には、街路事業として更なる都市機能の強化が図れるよう、都市環状および都市放射機能を有した箇所を優先的に選定することとし、さらに事業展開にあたっては市街地の活性化に寄与するよう市町の街づくり計画との連携を図りながら、限られた予算の中で早期に事業効果を発現できるように努めていく。



栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>

E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ